

## 第75回 JAMSNET-USA 定例会議団体活動報告

2024年11月14日 木曜日 午後4:30~6:00

### Apple Time Family

ホームページを新しく改定してより分かりやすいものにする予定です。

また会員の名簿も日本を含めて約120名居られるのを更新しました。

1) 8月17日(土) MoMA、NY消防署、フードコート、ロックフェラーセンターにて開催  
40名ちかく参加。一般の方より早く入場させて頂き、空いており自由に名画を見て回れたので、子どもたちものびのびと楽しむことができた。昼食後には消防署の見学。新旧の家族の交流ができた。

#### 2) ボウリング大会

10月6日(日)2時から4時 Bowler City (NJ)

参加者45名

親子で楽しくボウリングができた。初めてボウリングを体験した子供たちもいた。ニュージャージーとウエストチェスターの会員との交流ができてよかった。

#### 3) NJ 支援級に関する セミナー

10月18日(夜)8時から9時 ZOOM

会員さんが障がい児の教育についてお話しをしてくださった。

#### 4) 11月6日(水) NJ 対面おしゃべり会

#### 5) クリスマス会

12月14日(土)ハリソンにて開催予定

## CJCAT

月一回の親子向けの音楽とアートのクラスをアップルキッズさんと共催で開催しております。毎回10-15組にご参加いただいています。

メンタルヘルス、クリエイティブアーツ専門家に対するスーパービジョンや一般向けのクリエイティブアーツワークショップの今後の開催を計画中です。

## ニューヨーク日系人会/JAA

2024年9月1日-11月14日

1. 毎月の定期法律相談室（移民法、相続・遺言、諸問題）は電話相談で継続。日々の相談やヘルプを随時行っています。グリーンカードのRenewal、米国籍の方への日本の年金証明作成、日本帰国の方の支援、ソーシャルセキュリティーベネフィット申請手続き等行っています。
2. シニアへのお食事会/敬老会を2024年9月から11月まで、5回行いました。会場での会食とピックアップ・デリバリーで、毎回110個-130個のお弁当を用意しています。日本食と日本語の懐かしい歌や毎月のお誕生会を楽しみました。また、「COVID-19, インフルエンザなどの予防接種についての講演」やヘイトクライムなどの被害にあった時のディフェンスの講習会などを行いました。
3. JAA ホールでのカルチャークラス（太極拳、書道、茶道、JAA コーラス）を毎週、毎月のシニアへの無料ヘアカット、そして、アップルキッズ主催の就学前の子供を対象にしたアートと音楽のクラスを灘田篤子さん指導で毎月1回行っています。
4. 第18回秋のヘルスフェアが9月6日から10月13日まで、JAMSNET 共催、NY 総領事館後援で開催。全年齢を対象にしたヘルスフェアは好評で、50以上のプログラムに2000人以上の方が、online and in-person で参加しました。
5. 12月6日JAA 117周年記念晩餐会をハーバードクラブで開催します。ITO EN (North America), Inc. と Ms. Julie Azuma を表彰します。

12月には年末敬老会とホリデーパーティー&ボランティア慰労会企画しています。

## ニューヨーク邦人メンタルヘルスネットワーク

報告日：2024年11月8日 前回定例会（2024年8月）からの活動報告

メーリングリストによるメンバー同士の情報交換を常時行っています。メンバー各々の専門分野での有益なウェビナーや文献などの情報、リファラル情報、日本の事情など、様々な情報を共有しています。

JAMSNET ホームページの「COVID-19 パンデミック中の心のケア」での無料メール・電話相談を引き続き行なっています。子どもに関する相談はNY日本人教育審議会教育相談室でバーンズと森が、DVに関する相談はWOMAN KINDの永尾氏が、それ以外の大人の相談は他のメンタルヘルスネットワーク有志で受け付けています。

## ニューヨーク邦人メンタルヘルスネットワーク会合

前回からはネットワーク内の会合はありませんでした。

## 第11回 JAMSNET WORLD 会議 メンタルヘルス分科会

先週11月3日に第11回 JAMSNET ワールド会議が東京医科大学病院で開かれました。その中でメンタルヘルス分科会が行われ、世界各地の邦人メンタルヘルス専門家がハイブリッド形式で集いました。この会の目的は、ワールド邦人メンタルヘルスネットワークを発足することでした。JAMSNET 日本、USA、ドイツ、シンガポールから、メンバーであるメンタルヘルス専門家約20名が、対面とオンラインで参加されました。NY邦人メンタルヘルスネットワークからも代表の斎藤恵真先生他7名が参加の参加がありました。

まずはこれまでのワールド邦人メンタルヘルスネットワーク立ち上げの経緯についてバーンズ氏より説明がありました。その後世界各地のメンタルヘルスグループの概要や特徴を互いに紹介し合いました。そしてこれから立ち上げるワールド邦人メンタルヘルスネットワークのミッション、役割、活動内容、規定について、司会を務めた JAMSNET 日本理事鈴木満氏と JAMSNET—USA 理事森から具体案を提示し、参加者で討議しました。その結果全員一致で、「JAMSNET ワールド邦人メンタルヘルスネットワーク（仮称）」が発足されることとなりま

した。このネットワークのミッションは、世界各地に暮らす日本人、及び日本語・日本文化を継承する人の心の健康をサポートすること、目的は、1) 世界各地の邦人メンタルヘルスネットワーク同士の情報交換、相互連携、2) 危機時に備え、世界各地の邦人メンタルヘルス臨床家のリストを維持することです。活動内容としては、1) メーリングリストによる情報共有（リファール、専門文献、Webinar 他）、および定期的な会合（年に一度のオンラインによる代表者・役員会議、及び JAMSNET ワールド会議でのハイブリッドによるメンバー会議）を予定しています。

## 福島県の遠方支援

前回からの報告は特にありません。

## メンバーによる主な活動

9月19日 オンライン講座：「現地校お悩み解決」現地校に通う子どもを持つ保護者へのワークショップ

講師：バーンズ静子 School psychologist

新学年の始まり間もないこの時期に、学校との付き合い方、家庭での学習支援、日本語能力維持などについてわかりやすく説明。

48名の保護者が参加。「子供に宿題をさせるのに苦労していた、自分だけではないことが実感でき、具体的にどうすれば改善するかがわかり安心できた」、「わかりやすく温かな雰囲気の話が聞けた、有益な時間だった」などのポジティブな感想が寄せられた。

9月19日—26日 オンライン無料個別教育相談

カウンセラー：バーンズ静子 School psychologist 森真佐子 Clinical psychologist

最初先着10名、一人25分の制限を設けていたが、それを大幅に上回る申し込みがあったため、28名に枠を増やして実施。現地校不適應、不登校、ADHDを含む発達上の心配、親の離婚にまつわる子供の心のケアなど多様な相談が寄せられた。「専門家に日本語で相談でき安心し

た、貴重な機会に感謝する」、「一人で長く不安を抱えてきた、具体的な対応法があることがわかり希望が湧いた」などの感想が寄せられた。

10月17日（木） ネットワーキング・ミーティング@ハノイ

ハノイのラッフルズ・メディカルの中島敏彦先生のご協力を得て、ハノイにおけるスペシャルニーズを持つ日本人の子どもたちの支援体制の構築について意見交換の会を開催した。ハノイの現地からは、中島先生、ラッフルズ・メディカルの小児科医、ファミリーメディカルの臨床心理士、児童発達支援士、現地日本語幼稚園の園長、幼児教育アドバイザーと、ニューヨークからはバーンズとニューヨークの日本語幼稚園の園長が集まって可能性を討議した。現地では互いに存在は知っていても一堂に会することがなかったとのことで、これからに向けて良いきっかけづくりにはなったと思われる。

10月19日（土） 日本LD学会（神戸） 学会発表

自主シンポジウム「日英バイリンガル児への WISC-V 実施方法の検討 サブタイトル:ーシンガポールとニューヨークからー」

JAMSNET メンタルヘルスネットワークにも連なっているシンガポールの西河彩恵子さん（シンガポール認定サイコロジスト）の上野一彦基金若手研究奨励プロジェクトの発表の場に依頼を受けて、米国の WISC-V の活用のされ方やバイリンガルの子どもの対象としたアセスメントのニューヨーク州のガイドライン等について国の比較としてバーンズが発表。帯同家族として日本から海外に出る子ども、日本に帰国する子どもに対応する心理職や教員、また日本でも公教育の中で増加している日本語以外を母語とする子どもに対応する人たちなど、多くの方に参加いただき、具体的な質問も寄せられた。

## JASSI (Japanese American Social Services, Inc.)

- Asian American Federation (AAF) を通じて受給したニューヨーク州からの助成金により、8月から12月に新しいプログラムを開始しております。
  1. カウンセリングプログラム
  2. シニアIT何でも相談室
- 対面茶話会とリモート茶話会は継続して行われております。
- 10月24日（木）創立43周年記念JASSI ベネフィットディナーをThe Yale Clubにて開催いたしました。

### 「今後の予定」

- 第二回シニア・リビングセミナー11月中旬予定
- 低所得の個人やご家族、そして自宅から精神面や健康面で外出できないクライアントの皆様へ日本食Food Deliveryを12月上旬から中旬に計画しております。
- 対面茶話会とリモート茶話会は継続して行われます。

## 東京ーフロストバレーYMCA パートナーシップ

### 1. サマーキャンプ

キャンパー 275名

スタッフ（17歳～）50名

- 大自然の中で電子機器から離れ仲間たちと日本語の環境で過ごした。
- 日本に縁のある子どもたちが参加をするが、永住者、長期滞在者の参加が多い。
- コロナ禍で中断していた羽田空港集合解散のプログラムが復活し、引率者1名を含む8名が参加した
- 日本からJ1ビザを取得して6名の青年がサマーキャンプスタッフとして参加した。

## 2. 利用実績（サマーキャンプ以外）

10月18日～20日 秋のファミリーキャンプ 6家族

・紅葉の美しいフロストバレーでのんびりとアウトドアアクティビティを楽しんだ。Wi-Fiが通じないロッジでの生活がとても印象深いとの声が多数寄せられた。家族の絆を深め、子どもの成長をみんなで願う週末キャンプとなった。次回は12月末に開催される。

## 3. その他

・J1ビザを利用して18カ月のインターンシッププログラムの3期目の募集を開始する。2025年春から2026年秋まで、英語と日本語を使ってフロストバレーの大自然の中でインターンとして働く。社会人経験がある若者が対象。国際人としての足場を築く機会を提供していく。

## もみの木 DC

報告期間：2024年9月～2024年10月末まで

### 1. 各グループの活動

#### <子育て支援>

・毎月行われる第1・第3火曜日の乳幼児向けの親子教室9月に開催。DC近郊で、火曜日の同じ時間帯にキリスト教会が開催する無料英会話教室が9月から開催されるようになり、ベビーシッターも無料のことから、親子教室に来ていた方々の多くが、そちらを利用するようになり、曜日変更を考えているが、レンタルスペースを6月まで予約している、曜日変更が可能であるかを確認と子育て支援グループ登録者の方々の多くが希望する曜日とレンタルの場所が折り合うか確認中。

・中・高校生日本語ボランティア

9月14日 お手伝い先の日本語学校たんぼぼ学園にて、保護者のための茶話会にて、飲み物販売を行う（収益の一部を10月25日の世代間交流会で使う） 10月25日 世代間交流会のホストとして協力

#### <ひなたぼっこ会>

・対面とオンラインのハイブリッドで集まり、テーマに沿って参加者の方々から話を聞き、情

報交換、交流を深めている。10月テーマ「親はどこまで学校に口出しして良いのか」

・オンラインのみ

11月テーマ「IEPって？」

ゲストスピーカー 山本和子先生 オハイオ州立大学 Special Education 専攻 修士課程 を終了後、Interven on Specialist としてオハイオ州コロンバス市校区で働き始めて27年目。現在、Special Needs Preschool の個別訪問指導員として、IEPの保育園児を担当。

### <シニアサポートグループ>

・9月、10月に月に1度の日本食のランチのデリバリーを実施。

10月は、お弁当デリバリーに合わせ、ライダーウッドシニアホームに盆踊り会と移動図書館のグループと共同で訪問

・10月25日 世代間交流会 もみの木DCが協賛して、たんぼぼ学園にて世代間交流会を開催 園児・小学生約100名が歌や踊りなどを披露し、19名の地域のシニアと40名程度の子育て中の親が参加。小学生・ボランティア中・高校生と保護者、シニアで盆踊りを共に踊り、ランチを保護者とシニア、ボランティア中・高校生でとりながら交流を深め、お互いが楽しい時間を共有。

## フィラデルフィア日本人会

### 1. JAGP60周年記念秋の懇談会

10月6日(日)にウエインホテル内にあるロザリーレストランで行われた懇親会には54名が参加された。10名の新会員の皆様をはじめ、自己紹介やテーブルでのご歓談でお互いを知り合い交流を深めることができた。

この日のお食事はサーモンとシャクシュカをメインにしたイタリア料理。大変好評で皆さん最後の3種のデザートで締めくくりまで満足していただいた。飛び入りで「ひろし」の余興をされ場を盛り上げてくださった宮原ロイさん、会員の健康長寿を願って楽しいクイズで日々の生活習慣を見直す学びの場を提供してくださった船木会長に心よりお礼申し上げます。

懇親会は今年で二度目になるが、食事を伴ったこのような交流会を定期的にしてほしいというご要望をいつも耳にする。参加された新会員の方にとっては、新しい出会いや貴重な情報を得る機会となって喜んでいただけ、「秋の懇親会」は大成功を収めた。



## 2.和の交流シニアコミッティによる英語茶話会

第7回英語シニア茶話会は、10月23日（水）午前10時よりメンバー8名参加のもとZoomにて行われた。新たに、William Han, Ayumu Yokoyama, Kristine Mulhornの皆さんが参加された。

テーマは「皆さんが今日を支えてきた大事な教訓、書籍、詩など」の紹介。それぞれユニークかつ多いに参考となる教えが披露された。

## 3. 第23回東和エッセイコンテスト

10月20日（日）審査員からの審査結果を締め切った。これから各後援団体へ作品をお送りし、それぞれの入賞者が決まり、来たる年1月11日（土）に入賞された生徒さん方の授賞式を行う。

## 4. 60周年記念お茶会

11月9日（土）松風荘にて、フィラデルフィア裏1千家協賛のもとフィラデルフィア日本人会の秋のお茶会が開催された。当日は第一部と第二部の2回に分け、会員の方そして非会員の方も参加された模様。

## 5. 安全対策セミナー

11月16日（土）7時30分に「安全対策セミナー」を開催する。在ニューヨーク総領事館より犯罪対策の専門家の先生方をお招きし、邦人の方々が巻き込まれる犯罪の傾向と対策についての最新情報を共有してくださる。皆様の安全意識向上に役立つ貴重な機会なので、多くの参加を希望している。

## 6. 和の交流シニアコミッティによる英語茶話会

第8回英語シニア茶話会は、11月20日（水）午前10時にZoomにて開催される予定。

## Asian Against Domestic Abuse, Inc. (AADA)

報告期間：2024年8月1日 - 2024年10月31日

### 1. 研修活動

- サンフランシスコで3日間に渡り開かれた API-GBV(アジア・太平洋諸国のジェンダー暴力防止)研修に積極的に参加(8/27-29)。DV やそれに関連する最新の知識を学び、他の参加者とのネットワークを構築する機会も得られた。
- 当団体オフィスで The Harris Center for Mental Health から講師を招いて Mental Health 101 の研修を実施(9/12)。メンタルヘルスの基礎知識を深め、メンタルヘルス問題を抱えるクライアントへの適切な対応を学ぶ。

## 2. 広報活動

- 当団体オフィスで支援者へのパーティーを開催(8/16)。支援者との交流を深め、彼らに感謝の意を伝える良い機会となる。
- Houston Filipino Street Festival にブースを出展(10/19)。当団体の活動を広く周知することができた。

## 3. 今後の課題

- ボランティアの活用：前期にボランティアの募集を行い、数名が登録してくれたが、このボランティアをどのように活用するかアイデアがまだ固まっていない状況である。クライアントのプライバシーを最大限に配慮する必要があるため、その点を考慮しつつ、ボランティアメンバーにどこまでの活動をしてもらえるのかを考えるのが難しいところである。活動の意義を感じてもらえるような内容を考え、具体的な役割を提供することが求められる。
- DV 被害者への支援：常に存在する課題として、DV 被害者であるクライアントは経済的に困窮している、または就労経験不足の方が多い。クライアントへの就労支援を増やすことを今後も考えていかなければならない。具体的には、職業訓練プログラムの提供や、履歴書の書き方や面接対策に関するワークショップの開催が考えられる。また、英語力がハードルになっているケースも多いため、その点の強化も必要。
- 子供達への支援：クライアントの子供たちへの支援の用意があるものの、子供本人だけでなく、その親も支援の必要性を感じていない場合が多い。そのため、家庭全体に対する教育プログラムの提供が求められる。例えば、親子で参加できるワークショップや、親が子供のメンタルヘルスを理解し支援する方法を学ぶセミナーなど。そういった家庭に対する教育の場も必要だと考えている。

## NY de Volunteer の概要




アメリカ国税局から501(c)(3) IRS Status(税金控除資格)を取得している非営利法人です。

2002年に、コニーアイランドでのゴミ拾いをきっかけで、日本人女性2名が創立しました。

活動主旨：  
市民の社会参加・ボランティア活動の推進と、グローバルリーダー育成を通して、社会課題の解決に向けて、**自発的に考え行動するチェンジメーカー**を社会に送り出します。

Empowering the Japanese & American Communities to become Positive Change Makers through Civic Engagement and Global Leadership Development

いつか誰かがではなく、あなたが今出来る事は何か？ はじめてみよう、NYでボランティア 

## NY de Volunteerのプログラム

目的: 参加者がグローバルな視点でリーダーシップを発揮し、社会課題に積極的に関わり、社会的な変革を推進するチェンジメーカーとしてのマインドセットとスキルを身に着ける

対象:

- 主に学生・若手社会人
- 企業の次世代リーダー候補者
- ソーシャルイノベーション・ビジネスに興味を持つ者

プログラム

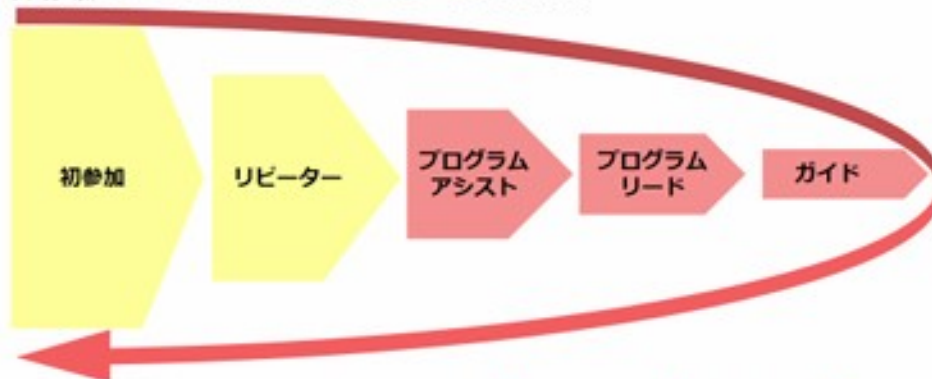
Civic Engagement (市民参画・ボランティア体験) と Global Leadership Development (グローバルリーダーシップ開発) の要素を取り入れた **アクティブラーニング型**のプログラム

- ボランティア (サービスラーニング) 体験
- グローバルリーダーシップ研修



## 社会貢献の最初の一歩 → チェンジメーカー推進者に

市民参加型プロジェクトを通じたリーダーシップの育成



アクティブラーニング型 Education (学び) + Experience (体験) + Exchange (交流) の三要素

## ボランティア体験：ダイバーシティ理解推進

未来を創る日米の次世代が、相互理解を深め、互いの視野を広げ、持続可能な社会創りに向けて、各自が出来るアクションを起こしていく。



サービスラーニング：活動を通じて、経済格差や教育格差といった社会課題の現実を肌で感じ、その中で、自身がどのように貢献できるかを主体的に考える。

NY de  
VOLUNTEER

## ボランティア体験：フードバンクやスープキッチン

ボランティアがNPOの運営を支える重要な役割を果たしている施設で活動し、さまざまな背景を持つニュー Yorker たちが積極的に社会課題の解決に取り組む姿勢から学び、自らが取組める行動を見出していく。



NY de  
VOLUNTEER

## Global Leadership Program スタディツアー・シスタープログラムなど

日本からニューヨークへの修学旅行や研修旅行を計画している高校や大学向けに、企業訪問やニューヨークの学生との交流、現地で活躍する日本人を招いたロールモデルスピーカーセッション、社会貢献活動体験、NPO視察などを提供します。各教育機関のニーズに合わせて、プログラムを柔軟にカスタマイズし、より充実した学びの機会を提供します。



NYの大学生との交流



企業訪問

NY de  
VOLUNTEER



## 提供価値：人生観が変わる体験で人の変革 リンクされたスライド | 2 / 2

### なぜ「NY de Volunteer」なのか

「NY de Volunteer」は、20年以上にわたりアクティブラーニング型のチェンジメーカー育成プログラムを提供し、実績と信頼を築いて参りました。このプログラムを通じて、参加者は受益者と直接関わり合いながら、人の痛みに共感する力を自然と育みます。

また、多様なバックグラウンドを持つ人々との交流を通じて、日本人としての枠を超え、より広い視点で「地球市民」としての意識を高めていきます。プログラムでは、社会課題に果敢に挑み、生きがいをもって働く人々との出会いが、参加者に強いインスピレーションを与えます。

「自分は何のために生きているのか」「大切な価値観は何か」「本当にやりたいことは何か」という本質的な問いかけが、日常から離れた環境で投げかけられ、参加者の心を大きく揺さぶります。

その結果、受け身ではなく、自分軸を持ち、社会課題に対して主体的に考え行動する力を体得することができます。自分でも気づいていなかった可能性に気づき、新たな扉が開かれたとき、参加者はチェンジメーカーとしての道を歩み始めるのです。



### ■報告事項2. 新しい仲間が増えました。



### ■報告事項3. 10月19日 駒場学園 チェンジメーカー研修プログラム

#### 【本プログラムの背景】

NY de Volunteerは、2003年の設立以来、市民の社会参加やボランティア活動の促進を通じて、グローバルな視点で社会課題に取り組むチェンジメーカーの育成をする非営利団体です。

私たちは、ニューヨーク在住の方々には社会貢献の最初の一歩を踏み出すきっかけとしてグループボランティア活動を企画する以外にも、日本在住の高校生や大学生向けにグローバルスタディ研修を長年に渡り実施しており、世界を視野に入れた考え方や行動力を養う体験型の学びの機会を提供しています。

そして、2024年10月19日、東京都渋谷区にある私立駒場学園高等学校の生徒37名を対象に、7日間のニューヨーク・ボストン修学旅行の一環として、ニューヨーク滞在中のボランティア研修プログラムを実施しました。

本校では、SDGsをテーマに国内外で修学旅行を展開しており、今回のニューヨーク修学旅行では「異国の地でのボランティア体験を通じて、他者への思いやりと社会貢献を考える機会を提供したい」という理念のもと、当団体が半日プログラムを企画し、運営しました。

活動報告@NYdVウェブサイト

<https://www.nydv.org/post/%E3%80%90%E8%B4%BB%E5%8B%95%E5%A0%B1%E5%91%8A%E3%80%91%E8%B8%8B%E8%B0%B7%E3%81%AE%E9%A7%92%E5%A0%B4%E5%AD%A6%E5%9C%92%E9%AB%98%E6%A0%A1%E7%94%9F%E5%90%8D%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%81%A7%E5%85%9D%E3%82%81%E3%81%A8%E3%81%AE%E3%83%9C%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2%E4%BD%93%E9%A8%93>

週刊NY生活に掲載頂きました。

市民の社会参加やボランティア活動を通じて、グローバルな視点で社会課題に取り組む非営利団体「NYでボランティア」は、東京都渋谷区にある私立駒場学園高等学校の生徒37名を対象に、7日間のニューヨーク・ボストン修学旅行の一環として、ニューヨーク滞在中のボランティア研修プログラムを実施した。同校では、SDGsをテーマに国内外で修学旅行を実施しており、今回のニューヨーク修学旅行では「異国の地でのボランティア体験を通じて、他者への思いやりと社会貢献を考える機会を提供したい」という理念のもと、同団体が半日プ

# NYで実体験 ボランティア活動

ログラムを企画した。今回、生徒たちはニューヨークの慈善団体「God's Love We Deliver」を訪れ、ボランティア活動に参加した。この団体は1985



## 駒場学園高校の37人 社会貢献の修学旅行



年に設立され、HIV、エイズやがん、認知症など深刻な病を抱える人々に、年間約500万食以上の栄養豊富な食事を届けている。活動は1万7000人の受益者へ2万3000人以上のボランティアと寄付により支えられている。まず団体についてのオリエンテーションが行われ、生徒たちは熱心に耳を傾け、深い関心を持って参加した。その後、自ら生徒

たちは役割分担をし、受益者に届けられる朝食のバッキング作業を行った。スムーズに作業が進み、スタッフはその手際の良さに感心していた様子だった。「God's Love We Deliver」では、食事の提供だけでなく、受益者に生きる喜びや希望を感じてもらうために、誕生日やクリスマスなどのイベント時にカードを届ける活動も行っていることから、今回、駒場学園の生徒たちは、受益者への温かい思いを込めたカードや折り紙を作成した。生徒たちは英語と日本語でメッセージを書き、折り紙を使った立体的なカードや手裏剣、カボチャの折り紙も作成し、時間いっぱいまで意欲的に取り組んだ。参加した生徒からは「ボランティア活動が身近に感じられるようになった」とも「もっと気軽に参加できることを知った」という声があつた。

## ニューヨーク日本人教育審議会教育相談室

(2024年9月～2024年11月13日) 前回(2024年9月)以降の活動報告をいたします。

### 1) 無料電話・メール相談

- 新しい学年・学期が始まり、学校システムについての情報などの問い合わせが多く寄せられました。
- 電話やメール相談は、前からの内容(Special Educationのシステムに関する問い合わせ、発達障害の疑い、親子関係やしつけの問題、不登校、学校選び、学校との付き合い方、学習の問題等)が主になっています。
- とくに新規の不登校の相談が多く、これは夏休み明けに不登校が増える日本での傾向とも似ています。

### 2) 面接相談

- 基本的に相談室での面談をしています。ただ、コロナ禍で始めたオンラインの利便性も活用してWith Coronaの新しい在り方としてご希望によってオンラインでも行っています。

### 3) ワークショップ等

<ワークショップ>

9月7日(土) 日本人学校合同職員研修(参加者:25名) Contral Connecticut State Universityの竹前先生とのコラボで、ニューヨーク日本人学校、ニュージャージー日本人学校2校の合同研修会を開催しました。二つの学校の先生方が積極的に参加されました。

9月19日(月) 秋のヘルスフェア「現地校お悩み解決!」(参加者:63名) 現地校にお子さんを通わせる親御さん向けのオンラインワークショップを行い、ニューヨーク地域にとどまらず、全米からの参加がありました。「日米の教育の違い踏まえ具体的なアドバイスを下さりとても参考になりました」「海外での教育や子育てについて日本語で相談できる場があるということを知り、とても安心いたしました。また、自分の悩みが特殊なのではないかと考えがちでしたが、他の保護者の方々も似たような悩みをお持ちであることが分かり、大変参考になったとともに、やはり安心いたしました」などの感想を寄せていただきました。

9月21日(土) ニューヨーク補習授業校ロングアイランド校保護者会とのコラボ(参加者:20名) ティーンのお子さんをお持ちの保護者向けに対面で「親も子もすこやかに過ごせる思春期」と題したワークショップを行いました。実際にティーンを持つ保護者だけではなく、来

る将来に向けての準備として小学生の保護者も多く参加されていました。「見た目と判断力や脳の発達を分けて考えることが大事だと理解できて良かったです」「子供の話を聞くことがいかに大事かと痛感しました」などの感想が寄せられました。

#### <無料個別相談会>

9月19日（木）秋のヘルスフェアの一環で無料個別相談（各25分）を提供しました。先着10名に提供予定でしたが、反響が大きかったので日にちを延長し、22名の方の相談に対応いたしました。

#### <学会発表>

10月19日（土）日本LD学会（神戸）自主シンポジウム「日英バイリンガル児へのWISC-V実施方法の検討 サブタイトル: シンガポールとニューヨークから」 JAMSNET メンタルヘルスネットワークにも連なっているシンガポールの西河彩恵子さん（シンガポール認定サイコロジスト）の上野一彦基金若手研究奨励プロジェクトの発表の場に依頼を受けて、米国のWISC-Vの活用のされ方やバイリンガルの子どもを対象としたアセスメントのニューヨーク州のガイドライン等について国の比較として発表しました。帯同家族として日本から海外に出る子ども、日本に帰国する子どもに対応する心理職や教員、また日本でも公教育の中で増加している日本語以外を母語とする子どもに対応する人たちなど、多くの方に参加いただき、具体的な質問も寄せられました。

## NY すくすく会

ニューヨークすくすく会・お茶会 活動報告（2024年1月～2024年11月分）

### すくすく会主催(2024年1月～)

2024年4月18日(金) 妊婦さんとパートナーのためのプリママ講座

Zoom ウェビナーSakura health

参加者：31名

産婦人科医からは妊娠から出産への流れやアドバイスを、小児科医からは出産後について、助産師・授乳コンサルタントからは母子ともに幸せに過ごせる母乳育児の方法等について講義



2024年4月21日(日) 心肺蘇生法ワークショップ

JAA ホールにて Sakura Health

参加者：21名

対面にて成人と子供の心肺蘇生法、喉に物を詰まらせた場合の対処法についての講座を開催

2024年4月28日(日) NY Kids Life Science Foun JAA ホールにて Sakura Health, JMSA

参加者：51名

JMSA 主催キッズにサイエンスの楽しさを知ってもらうための人気企画がパンデミックでの休止を経て今年再開しました！研究者や医学生、高校生などもボランティアに加え定員オーバーの大盛況の会となった。

2024年10月3日(木) 7pm-9pm EST 妊婦さんとパートナーのためのプリママ講座

Zoom ウェビナー<< JAA Autumn Health の一貫で行います

産婦人科医からは妊娠から出産への流れやアドバイスを、小児科医からは出産後について、助産師・授乳コンサルタントからは母子ともに幸せに過ごせる母乳育児の方法等について講義

参加者：42名

2024年10月13日(日) 10:30am-12:00pmEST 心肺蘇生法ワークショップ

JAA ホールにて<< JAA Autumn Health の一貫で行います

対面にて成人と子供の心肺蘇生法、喉に物を詰まらせた場合の対処法についての講座を開催

参加者：30名

## 「お茶会」

「第26回すくすくお茶会～親子リトミック」

日時：2024年1月29日 月曜日 10am～11:30am

場所：Central Park Dance Studio (Scarsdale)

講師：ピアノ講師-渡辺よしこ

参加者：親子 12 組 25 名(双子 1 組)

**「第 28 回すくすくお茶会 ～Picnic～」 in-person event**

日時:2024 年 6 月 13 日木曜日

講師:林里奈 (ベビーマッサージ講師)

吉岡真理子 (フィットネストレーナー)

場所: Saxon Woods Park, White Plains, NY

参加者：親子 15 組子供 16 名

2024 年 10 月 25 日(金) 10:00～12:30 第 29 回すくすくお茶会～Halloween おやこ運動会」 in-person event

場所：JAA ホールにて

講師:林里奈 (ベビーマッサージ講師)

吉岡真理子 (フィットネストレーナー)

毎年ウエストチェスターで行っていたイベントを今年はマンハッタンで開催します

Color Game (show what color results from mixing different colors and have participants find that color) , Ghost Ring Toss, Cloud Nest Maze, Goodies Grab, Singing and dancing to "No Ghosts" and "Ghost Cha-Cha-Cha", Crafting with mini pumpkins, Drawing ghost faces on white balloons

**「すくすくスモールお茶会」 in-person event**

助産師による託児付きお菓子教室＋小児科看護師による家庭内での事故予防についての講義

第1回 4月11日(火)10:00am~1:00pm

講師:Yuriko (パティシエ)、山崎三奈子 (小児科看護師 (日本))

参加者:親子5組

場所:Les Confiseries de YURIKO 講師宅 (Westchester)

2024年10月25日(金) 10:00~12:30 第29回すくすくお茶会~Halloween おやこ運動会」  
in-person event

場所:JAA ホールにて

講師:林里奈 (ベビーマッサージ講師)

吉岡真理子 (フィットネストレーナー)

毎年ウェストチェスターで行っていたイベントを今年はマンハッタンで開催しました

Color Game (show what color results from mixing different colors and have participants find that color), Ghost Ring Toss, Cloud Nest Maze, Goodies Grab, Singing and dancing to "No Ghosts" and "Ghost Cha-Cha-Cha", Crafting with mini pumpkins, Drawing ghost faces on white balloons

参加者:親子18組総勢39名、満員御礼

## 今後の予定

「すくすく会主催」

2024年11月23日(土)10:00am -11:00am EST

Webinar “小児ワクチンのお話、アップデート” by 加納真紀医師

「お茶会」

2025年度

Jan 30th Baking class by Patisserie Irie Yuriko

Mar 27th Rhythmic class by Yoppi san and Oyako soudankai by Yumi at JAA

May 8th Baking class by Patisier Irie Yuriko

June 5th Thu Sukusuku summer picnic if it's Rain we will reschedule 12th

Oct 23th Thu Halloween Party.

### 助産師主催「無料育児・母乳相談」

予約制・無料の個別相談事業。助産師が本帰国後、基本はメールでの相談や臨床医、ラクテーションコンサルタントへの紹介を行っています。

### JB Line

(2024年8月-11月まで)

#### 【当期間の活動】

- 日英サポートライン
- コミュニティベースド（ケースマネジメント）：夏からシニアの緊急の支援が複数続きました。
- シニア支援：ケースマネジメント、訪問、サポートグループ（お話の【わ】の会、歌の会、Zoom Fitness）を行っています。
- 子育て世代支援：対面でのハロウweenと不用品交換のイベントを10月12日に行いました。
- 郊外支援：今月9日にMA州南のPlymouthで郊外支援を行いました。
- ファンドレージング：この期間に以下のグラントをいただきました。
  - Boston Foundation AAPICommunity Fund からグラントを頂きました。
- 日本・アジア系コミュニティにて：
  - 10月は各団体のGalaの時期で、AAPICommunity FundやATASKのガラにパートナーとしてお招きいただきました。

## OTA(折り紙療法審議会)

日時	場所	イベント名	インストラクター	感想
2024/09/29 (日) 11:00～11:45	オンライン/インターナショナル	OTA 9月オンライン折り紙ワークショップ	講師: ロシェル・マツツェ&バーバラ・パール	Whirlybird と Journal, OTA のインストラクターが 2 つの折り紙モデルを教え、参加者は一緒に折ることを楽しみました
2024 年 10 月 6 日から 9 日まで、 10月6日～9日 日～水	ペンシルバニア州ピッツバーグ	表現豊かな折り紙セラピー	アートセラピスト: 小林利子, カミラ・アギ＝メヒアス, パート 2&3 著者: 小林利子, MA, LCAT キンバリー・ミショー MA, LCAT, ATR, 証明書, Brnspr カミラ・アギ・メヒアス, MS, ATR-BC ピンロン・チェン, マサチューセッツ州, ATR, アマラ・クラーク, マサチューセッツ州, ATR-BC, CASAC-T, LCAT, ユンホンパーク, MS, ATR	60名以上のアートセラピストが Expressive Origami Therapyのテーブルを訪れ、本の情報を入手しました。
2024/10/18(金) 10:00～16:00	スタブロス・ニアルコス財団図書館 455 5th Ave, New York, NY 10016.	NYPL アクセシブル コミュニティ、文化、テクノロジー フェア	小林利子, ユンホンパーク	OTAテーブルには障害者の家族や関係者ら50名が訪れ、折り紙に慣れていないながらも楽しみながら折り方を学びました。
2024 年 10 月 26 日、土曜日 18 ～ 18:40 イン ド、(米国東部時間 8:30 ～ 9:10)	オンライン/インターナショナル	折り紙療法協会 - インド	講師: 小林利子, サントルプシー ダス	折り紙が、非言語コミュニケーションとして、どのようなセラピー力があるのかを、改めて認識させられたワークショップでした。"折り曲げの治療的側面に焦点を置いたとき、モデルが完璧であるとか、可能な限り正確に折るという事は、重要なことではなく、核の目標は、健康であり、折ることでどのように感じられるかが大切です。"

## Womankind

11月14日定例会用

Womankind では引き続き対面、電話、ビデオコールでの三通りの方法でサバイバーに向けた支援をしております。

10月はDV啓蒙月間にて、Womankindのブルックリンオフィスにてコミュニティ向けにHear Our Voices イベントを開催しました。このイベントではクライアントおよびコミュニティメンバーからアートの提出を募り、展覧会という形で展示するほか、会場ではアーティストによるアートの発表に加え、トラウマからのヒーリングに関してグループディスカッションを行いました。当日は小さな子供も含め、40名以上の参加者があり、盛況となりました。

また10月はWomankindの様々な子供向けプログラムが開始される月で、例年通り、6-12歳までの子供たちに1:1のメンタリングをするAYP（コロンビア大学との提携で実現しています）、13-18歳向けの青少年向けのプログラム、YEP（Youth Empowerment program）、DAT（Drawing and Truth）とが始められました。Womankindではドメスティックバイオレンスを経験した子供たちに向けたプログラムを多々提供しています。他の団体さまのクライアントでこのようなグループが有効だと思える場合は、お気軽にご連絡ください。

1月にはWomankindの恒例プログラム、人身取引に関するシンポジウムをオンラインで開催します。ご興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

以上 15 団体から報告